

■2009-2010■



岐阜中週報

THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

ロータリーの未来はあなたの手の中に

R.I.会長 ジョン・ケニー

会長 内 木 一 博
幹事 大 橋 哲 也
発行者 ウェブ委員会
委員長 大 島 康 之

例会 毎週火曜日 12時30分
会場 岐阜都ホテル
事務局 岐阜市神田町 2-2
電話 264-9235 番

平成 21 年 12 月 1 日(火)
第 820 号
第 898 回例会

友情と奉仕の灯を

スマイルボックス委員会

森益男君 11月16日、次女が結婚し、親の責任をとりあえず果たせました。

高校の授業を受け持って

国際ロータリー2630 地区

青少年育成委員会 故金正司

三重県立石薬師高校にて、午後の授業で「職業卓話」を1時限受け持たせて頂く事ができた。初体験であり、卓話の原稿を4回も5回も書き直す緊張の1ヶ月間であった。夢の中にも卓話中のシーンが出てくる。原稿作成の為に材料のひらめきが夢の中に現れる等々、多くの人に助けてもらった。ありがたい気持ちでいっぱいになりました。一週間前の新幹線の車中ではウェッジの雑誌より東進予備校の「ながせ社長」の記事が出てくる。一日前のTVニュースでは早稲田大学「おおさわ」監督の言葉に触れることが出来る。嬉しい事づくめでした。

今回は国際ロータリー2630 地区の青少年委員会からの講師の派遣事業である。205名の高校一年生男女を前



に職業卓話を行う事ができた。生徒さんの態度はいたって真面目で正面を向いて話を聞いてくれました。原稿のボリュームが多く半分の内容しか伝えることが出来なかった。テーマは「今、何をすべきか」を頂き、講師派遣の目的である職業感や勤労にふれてみた。主な内容は下記の通りです。

(1) やってあたりまえのことを「ちゃんとやる」。(人生の共通ルール)

(2) 自分の得意なことを一生懸命やる。新しい発見があり、そのことが次の新しい道につながって行く。(能力開発)(コツコツ)

(3) 自ら求め、自ら考える、人間の脳は受身で嫌々行う時の10倍の力を発揮する。(自立)(正しい判断基準を養う)

(4) 校訓を大切にすること。学校での教育理念である。会社にとっても経営理念である。そこを目指して行動することが大切。



人前で講義をさせて頂くことのありがたさ、そして反省、そして次へのエネルギー、ロータリアンとしての職業奉仕がここでも活用できたことを嬉しく思います。益々これからも2630地区の各クラブ活動の中に職業

前例会の記録

平成21年11月24日(火)
[点鐘] 12時30分～
[ソング] それでこそロータリー
[ゲスト] 岐阜県商工労働部
総括管理監 中島守様
[ビジター]

[出席] 会員総数37名
(出席免除1名)
本日出席 20名 55.55%
[行事] 卓話『GIFU・iPhone
プロジェクトについて』
岐阜県商工労働部
総括管理監 中島守様
担当 会員増強委員会

本日の予定

第898回
平成21年12月1日(火)
[点鐘] 12時30分
[行事] 年次総会
新理事挨拶
担当 会長

次回予定

第899回
平成21年12月8日(火)
[点鐘] 12時30分
[行事] 卓話
卓話者 秋保賢一会員
担当 プログラム委員会

体験受け入れと、講師派遣を充実して頂き、子ども達が学校を卒業して社会で大活躍できるよう、皆さんで声援を送ろうではありませんか。クラブ活動は行動力です。教育への投資が日本の明るい未来を作ります。中小企業に関わる大半の身近な子ども達に「我々が体験した人生の大切なメッセージ」を

伝えていきたい。青少年育成委員を通じて是非皆様方の職業感を伝達頂きたいと思います。青少年育成委員会の実績は地区のホームページ青少年育成へ！

■2630 地区 青少年育成委員会

<http://www.rid2630.org/committee/seinen/>

